

お元気ですか



笠木かおる旭川市議会議員

かおる通信

旭川市豊岡5条9丁目1番2号

TEL.FAX.0166-32-4863

Kasagi@eolas-net.ne.jp

新春



◆ 新年あけましておめでとうございます。2000年度の幕開け、皆さまには幸多き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

◆ 昨年の旭川市議会議員選挙では大変お世話になり本当にありがとうございました。世阿弥の「返すがえす、初心を忘るべからず。」を胸に刻み、一日一日を大切に精一杯がんばる決意です。まだまだ未熟者ゆえ皆さまの厳しいご指導を心からお願い申し上げます。

◆ 本年4月、旭川市は中核市に移行します。時をいつにして地方分権一括法も同時に施行され、旭川のまちづくりの方法が大きく変わります。中央の拘束からとかれ、「旭川市民が、自分たちの責任で、旭川のありようを決定することになります。今後は議員提案による条例制定も活発になります。私も、身近な声や夢を形にするため、政策勉強に励んでいきます。

◆ また、4月からは介護保険制度もスタートします。21世紀は高齢社会です。旭川市の65才以上の方は61,500人。もうすぐ5人に一人が高齢者となります。「一生健康」がなによりですが、介護体制を充実させるなどして老後の不安解消にも力をそそぎたいと思います。

◆ 旭川市の失業者人口は一万人を超えました。今春に高校を卒業する方々の就職率は30%に達していません。

雇用創出は焦眉の急です。まちづくりの展開も直接、雇用が生まれる事業を優先して進めることが最も大切と思っています。

◆ 先日、小さなパーティーに誘われ、参加者みんなで「♪母さんがよなべして手袋あんでくれたの〜」と歌い、心なごむものがありました。

戦後、高度成長期に育った者として、物豊かな時代に置き忘れてきた何かを発見したような気持ちでした。

◆ 「一生の跡に残るものは、貯めたものではなく散らしたものです」。作家、三浦綾子さんがさりげなくいった言葉だそうです。私も昨年は、アツというまの1年でしたが、素晴らしい人々に多く出会いました。そのお姿に学び、自己修業に励みます。

◆ 「夜明け前が一番暗い」。厳しい時代ですが、支え合い励まし合い、そして何事にも挑戦し、皆で「笑顔」を回復したいものです。

たくさんのご厚情に感謝し、ご一家の皆さまのご多幸をお祈り申し上げます。

2000年 辰年元旦
旭川市議会議員

笠木かおる

街頭にたちました



11月25日と12月4日、1条買物公園で街頭にたちました。

年金が①5%の削減②現役賃金上昇分のスライド停止③支給開始年齢に65才に改正されようとしていることに反対する立場で訴えました。

これ以上の老後不安は、消費マインドを冷やませます。また、65才支給では雇用と年金が接続しません。

現在、年金に加入していても保険料を払えない人や年金未加入の方が全体の3分の1に達しようとしています。

「国民みんなが加入し公平に支給を受ける」ことができるよう年金を「保険方式」から「税方式」に転換すべきと訴えました。

市予算編成に対し要望書を提出

12月20日、佐々木秀典代議士とともに旭川市に対し平成12年度の予算編成に関する要望書を提出しました。

全部で47項目。外環状線（鷹栖～東神楽線）の早期整備や大規模パークゴルフ場の造成、除排雪の充実などを含めました。

また、「介護オンブズマン」制度の新設や中小企業、農村の支援強化も重視し要望しました。

対応した和嶋昌幸助役は「最大限、予算編成に反映したい」と答えました。



行政視察



10月24日から5日間、北九州を行政視察しました。

長崎では、市民参加を徹底して行っている「歴史探訪路事業」、福岡の市民福祉プラザ、熊本では酸化物や塩化水素の排出量を最小限に留める高性能焼却炉を備えた環境工場などを視察しました。

しっかりと、旭川のまちづくりに反映したいと思います。

笠木かおる連合後援会（荻野慶博会長）の役員総会が11月17日、愛宕富士住民会館で開かれました。選挙後、はじめての総会で当日は50人もの役員にお集りいただき幹事会体制などを整備していただきました。ありがとうございました。

後援会の年間行事

後援会の年間行事としてビールパーティー（夏）、パークゴルフ観楓会（秋）、市政報告会などを予定していただいています。

日程が近づきましたらご案内させていただきますのでよろしくお祈りいたします。



第4回定例市議会報告

補正予算等審査特別委で集中審議

旭川市議会第4回定例会は12月1日から15日間の日程で開かれました。

以下、今議会の内容を報告させていただきます。

35億6千万円余の補正予算を可決

今回の議会で、35億6,237万5千円の補正予算が可決されました。

内訳は少子化対策特別費や旭川空港の整備事業費、旭川駅周辺土地区画整理事業費、生活保護費の追加などを主な内容とするものです。

一方、旭川市職員給与に関する条例が一部改正され、市職員の期末手当削減なども可決されました。

また、今議会では、4月の中核市移行にともなう条例として「旭川市保健所条例」や「旭川市屋外広告物条例」などが制定されました。



さらに、次期廃棄物最終処分場や産業廃棄物処理場の建設予定地用地取得についても提案されました。

私は、補正予算等審査特別委で、旭川駅周辺開発事業（北彩都あさひかわ事業）と江丹別地区に建設予定の産業廃棄物処理施設にしばり質問しました。

旭川市議会第4回定例会は12月1日から15日間の日程で開かれました。

北彩都あさひかわ事業に関する質問事項

(要旨)

- ★ 宮前西地区住民の移転補償はどこまですすんでいるか。対象者で移転したくない意志をお持ちの方はいないか。
- ★ 「行政拠点ゾーン」に12年度、障害者福祉センターが建設着工されるが、そのほかの計画はどうなっているか。国の合同庁舎の建設着工が遅れている理由はなにか。旭川市役所の移転建設も想定されているのか。
- ★ 「都市型住宅・商業ゾーン」の土地利用計画でいけば、2000世帯、5000人規模の人口が集中すると想定されるが、保育所や小学校は1条通、4条通りをこえなければならない。通学路はどうなるか。新設が必要でないか。
- ★ 総面積のうち、広場といえるカ所は何か所で合計の面積はどの位になるか。広場は分散させず、一つにまとめて後世に残せないか。
- ★ JR北海道、鉄建公団所有地のうち、すでに民間に売却された用地はあるか。その民間用地の利用計画と北彩都事業計画との整合性は。



【解説】

86ヘクタール、事業費1,139億円、平成26年までおよぶ「北彩都あさひかわ」事業は、大雪通りから神楽に通じる都市計画道路が姿を表わすなど、本格着工をしています。

「100年の大計」であるだけに、土地利用計画については社会・経済状況の変化や市民ニーズに応え「柔軟性」をもち事業展開をはかる必要があります。

質問に対し旭川市も「常に市民の意見を広くきき、土地利用計画を考えていきたい」と答弁しました。



大きなご支援に心から感謝します。たゆまぬ努力、全力で働きます。

産業廃棄物処理施設に関する質問事項

(要旨)

- ★ 焼却施設に必要な冷却水の水量調査はいつ行なわれ、結果はどうだったのか。
- ★ 水量不足の結果が明らかになって以降、時間が経過しているが何故、今日まで報告が遅れたのか。
- ★ 旭川市は振興公社に建設依頼しているが、責任の主体は市にもある。日常の連絡調整はどうなっているか。
- ★ このままだと、最終処分場（埋立て）施設だけが先行して建設されることになるのか。埋立て搬入量を減らす方策をどう考えているか。

【解説】

産業廃棄物処理施設は、旭川市が旭川振興公社に建設依頼し今年度着工、平成13年度から使用開始する計画です。

建設内容は最終処分場（埋立て処分場）と焼却施設、破碎施設が予定されていますが、焼却施設に必要な一日100トンの冷却水が50トンほどしか地下水から汲み上げられないことが明らかになりました。

今後、市は冷却水が少量ですむ焼却施設の技術開発などに期待を寄せるとともにガス溶融炉などの使用も検討すると思いますが、新しい技術に飛びつくことは危険な側面もあります。

産廃施設建設計画の見直しも含めた十分な再検討が求められています。

エコ・スポーツパーク事業に思うこと



「エコ・スポーツパークって、いったい何?」。なかなか理解しにくい名前です。

「エコ」とは生態系。つまり自然を大切にしたいスポーツ公園ということ。

この事業は旭川市雨粉にある旭川競馬場の上の方（神華地区）の土地、244ヘクタールにクロスカントリースキー（歩くスキー）コースをつくり、スタジアム（発着場）や駐車場3,500台を整備し、国際大会や全国大会を毎年招致していくという計画です。また、夏はジョギングやハイキングなどに利用、将来的にはナショナルトレーニングセンター（合宿ゾーン）構想もあります。

しかし、この事業の執行に関し、その不手際が次々と明らかになりました。①基本構想や基本計画策定の委託契約が随意契約で行なわれたが、その契約手続きが完全でなかったこと②地形図作成に関し、委託業者が測量を行わず地形図を作成、それを旭川市に納品したこと。などです。誠に残念なことです。

この背景には当初、平成15年度までに整備を完了し、同年の全日本学生スキー選手権大会を誘致したいとの構想があり、旭川市の事業担当者が執行を急いだことに大きな原因があると思われます。

いずれにしても市民から批判や指摘を受けることは当然の内容であり、旭川市は真摯（しんし）に受けとめ、問題点を洗いざらいえぐり出して、その改善に努める必要があります。

そして、この事業の再検討を行ない、市民合意のもとで新たな事業計画をたてるべきだと思います。

お願い

「かおる通信」は手配りで配布しています。何部でも構いません。ご協力いただける方ございましたらご一報ください。よろしく願います。